

| 科目名 | 精神看護方法Ⅱ(看護実践) Psychiatric Nursing Ⅱ | | 担当教員 (研究室番号) | 長南 幸恵 (401) | | 教員への連絡方法 (メールアドレス) | | | | | | | |
|------------------------------|--|---|---|-------------|----------|-----------------------|-------------|-------|--|-----------|----------|------------|---|
| 履修年次 | 3年次 前期 | 科目 区分 | 専門科目・広域看護学 | | 選択 区分 | 必修 | 単位数 (時間) | 1(30) | | 授業 形態 | 講義・演習 | 科目等 履修生 | 否 |
| 科目 目的 | 本科目は、精神科看護における患者-看護師関係の理論及び治療的コミュニケーション技術について理解すること、精神障がい者に対する精神症状及びセルフケアのアセスメント技術、看護過程の展開について理解し、効果的な看護支援方策について考察することを目的としている。 | | | | | | | | | | | | |
| ディプロマ・ ポリシー (DP) | 主要なDP | F人々の健康的な生活を支援するために必要な情報を様々な方法により収集する技能を身につけている。(技能・表現) | | | | | | | | | | | |
| | 関連するDP | B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解) C 多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。(技能・表現) | | | | | | | | | | | |
| 到達 目標 | 1. 精神看護におけるケアの原則や方法、患者-看護師関係を理解し、必要なコミュニケーションについて述べるができる。 2. 精神疾患のある人を理解するための知識と技術を述べるができる。 3. 精神疾患のある人の事例を用いた看護過程を展開できる。 4. 精神疾患のある人の地域での生活への支援と自立について述べるができる。 | | | | | | | | | | | | |
| 成績評価方法 (基準) | ①課題30%、②事例展開40%、③学習態度・グループ活動貢献度30% 課題や事例展開の提出遅延は減点になります。課題は、授業参加者が評価対象になります。 | | | | | | | | | | | | |
| 再試験の有無と 基準等 | ①事例展開および総合得点が6割を満たしていない者が再申請をした場合に実施します。②再試は、事例展開および課題から合格点に達していない内容を課します。 | | | | | | | | | | | | |
| 教科書 | VR精神科看護、学研 ※演習に使用しますので必ず購入してください。 | | | | | | | | | | | | |
| 参考書等 | 授業時に随時紹介 | | | | | | | | | | | | |
| 学生の主体性を伸ばすための教育方法と 学生への期待 | 既習の精神看護学の知識を発展させ、実践への準備性を高めます。ケアの原則や方法、患者-看護師関係を基盤に事例展開を学びましょう。学修成果は実習に反映されますので、履修者の主体的で積極的な参加を期待しています。 | | | | | | | | | | | | |
| 備考 | 精神看護学実習の先修条件です。 | | | | | | | | | | | | |
| 回 | 学習項目 | | 学習内容 | | | | | | | 主担当 教員 | 授業 方法 | | |
| 1回 | 事例展開① | | 本科目の目的・目標、スケジュールを確認する。 事例展開に必要な知識を確認する。 | | | | | | | 長南 | 講義 演習 | | |
| 2回 | 事例展開②：情報整理 | | BPSモデルおよびMSEによる情報整理方法を学ぶ | | | | | | | 長南 | 講義 演習 | | |
| 3回 | 事例展開③：情報整理・アセスメント | | 精神看護におけるアセスメント方法を学ぶ① セルフケアモデル(栄養/排泄、休息/活動) | | | | | | | 長南 | 講義 演習 | | |
| 4回 | 事例展開④：アセスメント | | 精神看護におけるアセスメント方法を学ぶ② セルフケアモデル(清潔、対人行動) | | | | | | | 西井 | 講義 演習 | | |
| 5回 | 事例展開⑤：アセスメント | | 精神看護におけるアセスメント方法を学ぶ③ セルフケアモデル(健康管理、金銭管理) | | | | | | | 西井 | 講義 演習 | | |
| 6回 | 事例展開⑥：アセスメント | | 精神看護におけるアセスメント方法を学ぶ④ セルフケアモデル(安全を保つ) | | | | | | | 西井 | 講義 演習 | | |
| 7回 | 事例展開⑦：全体像、問題および強み抽出 | | 患者の抱える問題や強みを抽出し、全体像を導く方法を学ぶ | | | | | | | 西井 | 講義 演習 | | |
| 8回 | 事例展開⑧：模擬カンファレンス | | 模擬カンファレンスを通して、抽出した看護問題あるいはストレングスの妥当性を検討する。 | | | | | | | 西井 | 講義 演習 | | |
| 9回 | 事例展開⑨：計画立案 | | 検討した看護問題やストレングスに関する看護の具体策を立案する。 | | | | | | | 西井 | 講義 演習 | | |
| 10回 | コミュニケーション演習① | | 精神看護における患者との関係性を理解する。 | | | | | | | 長南 | 講義 演習 | | |

| 回 | 学習項目 | 学習内容 | 主担当 教員 | 授業 方法 |
|-----|--------------|--|--------------|----------|
| 11回 | コミュニケーション演習② | 看護看護師関係における患者理解および自己理解を深めるツールを活用方法を学ぶ。 | 西井 | 講義 演習 |
| 12回 | コミュニケーション演習③ | 精神疾患のある患者とのコミュニケーション方法を学ぶ。 | 西井 | 講義 演習 |
| 13回 | 支援方法の理解① | 作業療法の目的や役割、実際に学ぶ | 長南/学 外協力者 | 講義 演習 |
| 14回 | 支援方法の理解② | 患者の回復を促進するレクリエーション企画立案を通して、その目的や意義を学ぶ | 長南 | 講義 演習 |
| 15回 | 支援方法の理解③ | リラクゼーション技法の目的や効果および実際に学ぶ | 長南/学 外協力者 | 講義 演習 |

学 習 課 題

(事後) : 事例展開は、該当内容まで進めてください。

実務経験を活かした教育の取組

・担当教員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。